



こ だ い ら

市議会だより



令和3年(2021年)10月31日 NO.249 発行／小平市議会 編集／広聴広報特別委員会
〒187-8701 東京都小平市小川町二丁目1333番地 TEL 042(346)9566
小平市議会ホームページ <https://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>
電子メール gikai@city.kodaira.lg.jp



秋の訪れ（中央公園グラウンド）

令和3年9月定例会は、9月7日から30日まで24日間の会期で開催されました。

この定例会では、令和3年度小平市一般会計補正予算（第7号）など16件の市長提出議案を可決・同意しました。議員提出議案は、放課後等デイサービス事業所への早急な支援策を求める意見書など2件を可決し、5件を閉会中の継続審査としました。また、請願は1件を採択し、2件を閉会中の継続審査としました。

なお、定例会最終日に提出された令和2年度各会計歳入歳出決算及び下水道事業会計決算の認定議案については特別委員会を設置し、閉会中の継続審査としました。

また、9月8日から3日間にわたり、26人の議員から57件の一般質問がありました。

9月定例会

令和3年度 一般会計補正予算（第7号） などを可決

—令和2年度決算審査のための特別委員会を設置—

今後の市議会の日程(予定)

開会時刻

原則として午前9時

場 所

市役所7階

11月 1日（月）総務委員会
11月 2日（火）生活文教委員会
11月 4日（木）厚生委員会
11月 5日（金）環境建設委員会（※1）
11月16日（火）請願・陳情締切り（午前中）（※2）
11月19日（金）幹事長会議（※3）
11月21日（日）市民と議会の意見交流会（※4）
11月25日（木）議会運営委員会（※3）
11月30日（火）12月定例会本会議（初日）
12月 1日（水）12月定例会本会議（一般質問）
12月 2日（木）12月定例会本会議（一般質問）
12月 3日（金）12月定例会本会議（一般質問）

12月 7日（火）総務委員会
請願・陳情締切り（午前中）（※5）
12月 8日（水）生活文教委員会
12月 9日（木）厚生委員会
12月10日（金）環境建設委員会
12月14日（火）広聴広報特別委員会
12月15日（水）幹事長会議（※3）
12月16日（木）議会運営委員会（※3）
12月21日（火）12月定例会本会議（最終日）
広聴広報特別委員会（※3）
1月13日（木）まちづくり調査特別委員会（※6）
1月18日（火）広聴広報特別委員会

1月19日（水）スマートシティ小平推進調査特別委員会
1月20日（木）まちづくり調査特別委員会

（※1）当日は現地視察を予定しており、委員会室での議案や請願などの審査または調査はありません。

（※2）12月定例会初日上程の受付期限です。

（※3）開会時刻については、議会事務局にお問い合わせください。

（※4）詳細は、8面をご覧ください。

（※5）12月定例会最終日上程の受付期限です。

（※6）当日は現地視察を予定しており、委員会室での調査はありません。

日程、開会時刻等に変更や追加になる場合もありますので、議会事務局までお問い合わせください。

市議会だよりの配布に関するお問い合わせは、小平市シルバー人材センター 042(344)2120 にご連絡ください。

令和2年度決算
特別委員会を
設置

(市長提案の説明要旨)

令和2年度の決算議案が9月定例会最終日に提出され、議会では審査のための特別委員会を設置しました。特別委員会は10月12日から4日間開催され、いずれの議案も認定すべきものと決しました。今後、12月定例会初日に委員長報告を行い、その後採決する予定です。

【一般会計】

歳入総額9百33億6百73万5千円、歳出総額8百98億5千2百62万9千円、実質収支31億5千4百7万7千円となりました。

歳入では、個人市民税や固定資産税は増となりましたが法人市民税が大きく減となり、決算においては、4年ぶりに前年度を下回る結果となりました。

歳出では、鈴木遺跡の国指定史跡化の記念展示、特別緑地保全地区用地の取得、健康センターへの子育て世代包括支援センターの開設、GIGAスクール構想実現に向けた1人1台端末の整備、鷹の台駅前広場用地整備、公共施設マネジメントの取組の推進など第三次長期総合計画に沿った事業を実施しました。

そのほか、特別定額給付金給付事業や、ワクチン接種に向けた準備など新型コロナウイルス感染症対策の取組を行いました。

市税収入が4年ぶりに前年度を下回り、地方債現在高が16年ぶりに前年度を上回るなど、非常に厳しい財政運営が続いてい

ます。このような状況の中で真に必要とされる事業を進めるために、今後も財政調整基金残高の確保に努めるとともに、選択と集中の取組を推進し、持続可能な財政運営に努めていきます。

【国民健康保険事業特別会計】

歳入総額百67億2千百87万円、歳出総額百65億7百5万9千円、実質収支は2億1千4百81万1千円となりました。

後期高齢者医療制度への移行に伴い、被保険者数の減少は続くものの被用者保険からの加入者が増えていることから、減少幅は鈍化しています。

歳入では、税率改定の実施等で国民健康保険税が前年度に比べ8千5百88万4千円、2・4%の増となり一般会計繰入金は19億1千万円を繰り入れました。

歳出では、保険給付費が前年度に比べ4億3千8百96万3千円、4・0%の減となりました。

【後期高齢者医療特別会計】

歳入総額44億5千百55万6千円、歳出総額44億2千6百55万9千円、実質収支は2千4百99万7千円となりました。

歳入では、被保険者数の増などにより保険料が前年度に比べ5千百95万7千円、2・4%の増となり、歳出では、療養給付費負担金の増などにより広域連合納付金が前年度に比べ1億3百19万7千円、2・5%の増となりました。

なお、後期高齢者医療制度の対象者は2万3千6百91人となり、前年度より357人、1・5%の増となりました。

【介護保険事業特別会計】

歳入総額百43億4千4百79万5千円、歳出総額百39億8百92

万6千円、実質収支は4億3千5百87万円となりました。

歳入では、法定負担割合に応じた国庫支出金等の増により前年度に比べ4・8%の増となり、歳出では、要介護等認定者数の増等に伴う保険給付費の増により前年度に比べ3・3%の増となりました。

第1号被保険者数は4万5千6百79人、要介護、要支援の認定者数は9千4百67人となり、ともに前年度より増加しました。

【下水道事業会計】

収益的収入は43億6千6百77万1千円、収益的支出は38億6千2百45万8千円となりました。

資本的収入は7億6千7百2万4千円、資本的支出は14億4千6百37万5千円となりました。

下水道プランに基づき、浸水対策及び下水道施設の老朽化対策等に取り組んできたほか、地震対策では、令和元年度に引き続き重要な管路の耐震診断調査を実施しました。

◎委員長 ○副委員長

■一般会計決算特別委員会

◎津本 裕子 ○川里 富美

石津はるか 伊藤 央

岡田しんぺい きせ恵美子

鈴木だいち 鈴木 洋一

比留間洋一 安竹 洋平

山浦まゆみ 山岸真知子

幸田 昌之

■特別会計・下水道事業会計決算特別委員会

◎福室 英俊 ○さとう悦子

虻川 浩 佐藤 徹

外山まなみ 橋本 孝二

橋本 久雄 細谷 正

水口かずえ 山崎とも子

山田 大輔 吉本ゆうすけ

政 務 活 動 費 収 支 報 告

令和2年度の政務活動費について、収支を報告します。

政務活動費とは

政務活動費とは、地方自治法第100条第14項から第16項まで及び小平市議会政務活動費の交付に関する条例の規定により、議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として、議会における会派に対して交付されるものです。

会派の所属議員数に応じ、1人当たり月額3万円をかけた金額がその年度に交付されます。交付を受けた会派には、年度終了後に政務活動費収支報告書を提出することが義務づけられています。

令和2年度 会派別収支状況

単位：円

経費項目			会 派 名 ・ 人 数 (令和3年3月31日現在)							合計
			市議会 公明党 6人	政和会 5人※1	一人会派の会 4人	フォーラム 小平 3人※2	日本共産党 小平市議団 3人	生活者 ネットワーク 3人	まちづくり 市民こだいら 1人	
交付決定額（A）			2,160,000	2,310,000	1,440,000	1,440,000	1,080,000	1,080,000	360,000	9,870,000
支 出	調査研究費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費	6,716	6,192	0	83,424	0	96,800	0	193,132
	研修費	会派が研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費	0	0	45,138	62,336	2,212	186,190	4,000	299,876
	広報費	会派が行う活動及び市政について市民に報告するために要する経費	227,568	1,607,455	0	1,222,589	870,870	690,000	249,136	4,867,618
	広聴費	会派が行う市民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、市民相談等の活動に要する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	要請及び陳情活動費	会派が要請及び陳情活動を行うために必要な経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	会派が行う各種会議を開催するために必要な経費及び団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費	101,621	43,376	10,053	62,707	4,437	0	194,880	417,074
	資料購入費	会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費	68,690	60,060	156,885	91,020	107,770	106,542	10,840	601,807
	人件費	会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	会派が行う活動に必要な事務所の設置及び管理に要する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計（B）			404,595	1,717,083	212,076	1,522,076	985,289	1,079,532	458,856	6,379,507
返還額（A－B）			1,755,405	592,917	1,227,924	0	94,711	468	0	3,671,425

※1 令和2年9月に議員が1人逝去し、令和3年2月に議員が1人辞職しました（当初人数は7人）。これにより、当初交付額2,520,000円から210,000円が減額となりました。

※2 令和3年3月に議員が1人辞職しました（当初人数は4人）。当初交付額1,440,000円は変更ありません。

各会派の収支報告書や領収書等は、議会図書室でご覧いただけるほか、ホームページでも公開しています。
詳しくは小平市議会のホームページ（<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>）をご覧ください。



二元代表制への認識を問う／
部活動を目的とした越境通学
（中江美和議員
（フォーラム小平））



二元代表制について 市の認識を問う

質問 ①憲法に基づき地方自治体が二元代表制を取っている理由と目的について市長の認識は。

②議員がその役割を十分に果たすために職員はどのような姿勢で議員に対して接するべきか。

市長 ①地方公共団体の長と、議会の議員とともに住民による選挙によって直接選ぶ二元代表制は、相互の牽制と調和によって公正な行政を確保することが期待されていると認識している。

②議員が市民の代表であるということを念頭に置き、議会と執行機関のそれぞれの役割を理解した上で、公正かつ誠実に接する必要があると認識している。

再び部活動を目的とした越境通学を可能にするために

質問 ①越境通学を可能にすることへの今後の検討状況は。

②部活動を理由とする指定学校の変更を認めない理由は。

教育長 ①現時点では検討は行っていない。

②通学の安全確保の面で課題があるほか、教育委員会では、学校、家庭、地域が連携し、互いを育て合い、子どもを支える教育という考え方に基き教育施策を進めていることから、現行の制度により運用していく。



新型コロナウイルス感染爆発から
市民を救う手だてを尽くせ
（鈴木だいち議員
（日本共産党小平市議団））



新型コロナウイルス感染爆発から 市民を救う手だてを尽くせ

質問 ①自宅療養者への支援として、市独自のコロナ相談窓口の設置や、往診や訪問看護など在宅医療体制の強化、パルスオキシメーターの配付等の早急な対応を求めるが見解は。

②臨時の宿泊療養施設の確保と整備が家庭内感染や重症化を防ぐ重要施策と考えるが見解は。

③妊婦と同居家族をワクチン優先接種の対象にすべきでは。

④保育園や学童クラブに従事する職員をワクチン優先接種の対象にすべきと考えるが見解は。
市長 ①市の人材や権限等から、



東部地域の諸課題について／
がん検診を進めるために
（津本裕子議員
（市議会公明党））



東部地域の諸課題について

質問 ①鈴木町二郵便局前交差点南側の歩道の一部が狭いことについて早急な対応が必要では。

②狭山・境緑道の花小金井・小平駅間は通行量が多いが自転車車の交通安全啓発等すべきでは。

市長 ①当該地付近の歩道は生け垣が繁茂し有効幅員を狭めている。今後、鈴木街道の管理者である東京都に相談していく。

②緑道の管理者の都に伝えていく。市も令和2年12月に小平駅周辺で小平警察署等と啓発活動等を行った。今後も小平警察署等と連携し啓発に努めていく。

がん検診を進めるために

質問 ①コロナ禍においても検診の重要性等を周知すべきでは。

②医師会と連携しての周知を実施すべきだが見解は。

市長 ①健康診査の受診票を送る際に同封しているがん検診等の案内リーフレットに検診の重要性を記載するなどしている。

②小平市医師会とは、定期的開催される会議で、がん検診の申込み開始日等の情報共有しているほか、健康診査を受診する際に必要に応じてがん検診を案内してもらうなど、受診率向上のための連携を継続していく。



公有土地の現状と活用／
市立中学校の給食配膳室について
（虹川 浩議員
（市議会公明党））



公有土地の現状と活用など 市立中学校の給食配膳室について

質問 ①現存のごみ集積所跡地の総数と合計資産価値は。

②積極的かつ戦略的に公有地の売却と活用による収益事業の企画等を進めるべきでは。

市長 ①昨年度末で74か所、過去2年度分売却実績の平均単価で試算すると約2億円である。

②第1期経営方針推進プログラムにおいて、公有財産の売却等を取組項目に掲げ、毎年2千万円以上の収入を目標に設定している。本プログラムに沿って、公有財産の適切な売却等により歳入確保に努めていく。

市立中学校の給食配膳室について

質問 ①配膳室の運営基準は。

②配膳室の運営と管理体制は。

③配膳室の空調換気設備の設置状況は。

教育長 ①文部科学省が定める学校給食衛生管理基準に基づく。②備品設置や設備の修繕は教育委員会が実施している。日常の配膳室の運用や設備等の管理、配膳員の配置は、給食調理・配送業務受託事業者が行っている。③全校に扇風機、換気扇及び網戸付き窓を設置するとともに、一部の学校にはスポットクーラーも設置している。



新型コロナウイルス感染症／
避難所管理運営マニュアル
（鈴木洋一議員
（政和会））



新型コロナウイルス感染症から 市民を守る

質問 ①8月20日号の市報に、自宅療養者等に食料品等を支援とあるが、申込みは1日何人か。

②小平市医師会との協力体制において、どのようなお願いや行動をしているか。

市長 ①1日に10人から15人分程度の申込みをもらっている。

②個別医療機関での新型コロナウィルスワクチン接種のお願いに対し、70を超える医療機関から協力を得る等しているほか、会場に行くことが困難な要介護高齢者に小平市医師会が健康センターでワクチン接種を行った。

新型コロナウイルス感染症 対策編の早期作成を

質問 ①市立小・中学校でのマニュアルの作成状況は。

②マニュアルについて課題は。

市長 ①小平元気村おがわ東を含め、本年8月末時点で完成が3地区、作成中が19地区、未着手が6地区である。

②新型コロナウイルス感染症拡大状況により、各地区の避難所開設準備委員会の開催が延期になるケースが多く検討の実施が難しいことが課題の1つである。今後開催できる状況になった際は、速やかに作成等に着手できるように準備を進めていく。



異常気象にも対応した災害対策／
小平農業への市の協力体制を
（岡田しんべい議員
（フォーラム小平））



異常気象にも対応した 災害対策を

質問 ①集中豪雨のとき、現状、市内の下水道施設の排水性能で対応できるのか。

②市が現在行っている、防災に対する市民への啓発活動は。

市長 ①公共下水道は1時間当たり50mmの降雨に対応できる。局所的な集中豪雨では道路冠水等が発生する可能性があるため、第二次下水道プランで浸水対策を重点施策とし、ピーク時の下水道への雨水流出量の抑制を行い浸水リスク軽減を図っていく。

②市報等で日頃からの防災対策等の啓発を行っているほか、

小平農業への 市の協力体制を求む

質問 ①小平市の農産物ブランドを創設する予定はあるか。

②地産地消の促進に取り組む市内飲食店等を把握しているか。

市長 ①JA東京むさし等の協力を得て平成20年に小平ブルーベリー協議会を立ち上げ、ブルーベリーのブランド化に取り組んできた。今後も都市農業の持つ付加価値を生かし市内農産物のブランド化を検討していく。

②商工会等や直接、飲食店等から情報提供してもらっている。



デルタ株から子どもを守る対策を／
補聴器補助事業の実施を
（きせ恵美子議員
（日本共産党小平市議団））



デルタ株の感染拡大から 子どもたちを守る対策を求める

質問 ①デルタ株から児童・生徒等の命と健康を守る対策は。

②感染した児童・生徒が家庭の事情により、医療ケアをはじめ必要なケアが受けられない場合の対策は。

教育長 ①市立学校での感染状況の特徴を踏まえ、学校内にウィルスを持ち込まないために感染源を断つ等の対策をしている。

②在宅で医療ケアを受けている児童・生徒に限らず、新型コロナウイルス感染症に感染した人への対応は一義的に保健所で行うものと認識しており、学校

補聴器補助事業の 実施を求める

質問 ①市の健康診査に合わせ認知症検査を行い、必要な人が聴力検査できる仕組みにしては。

②認知症予防の観点を明確にし、現金補助や現物給付を両立させる補聴器補助制度の実施は。

市長 ①健康診査は認知症予防を目的としておらず、全医療機関での円滑な対応は困難である。聴力検査も設備等を設置する必要があることなどから難しい。

②財源の確保等の課題もあり現段階では実施する予定はない。



令和2年12月に行った自転車利用者への交通ルール等啓発活動の様子



障がい者目線の小平市へ／学童クラブの宅配弁当／学校教育



障がい当事者目線をもつ小平市になるために

質問 ①障害者差別解消支援地域協議会設置の見通しは。

②（仮称）手話言語コミュニティ（仮称）条例制定への見解は。

市長 ①障害者差別の相談は市の窓口で受け、必要に応じ地域自立支援協議会で情報共有する。

②手話が言語であることの理解のために普及啓発活動等が大切と認識している。条例制定は他自治体等の取組を注視する。

再び学童クラブでの宅配弁当の導入について

質問 ①宅配弁当について、学



コロナ禍、安心して暮らすために／ごみ減量と資源化について



コロナ禍でも市民が安心して暮らすために

質問 ①病床の確保と宿泊療養施設の設置が急務だが見解は。

②訪問医療やオンライン診療について医師会への働きかけは。

③不安やストレスから自殺が増えているが、自殺予防対策は。

市長 ①重要な施策と認識しているが市には病床等を確保する権限等はない。

②ワクチン接種を優先してお願いでおり具体的な働きかけはないが引き続き情報共有する。

③こだいら健康増進プランで取組を推進している。医療等と連携し総合的に取り組む必要が



多様な幼児教育の保障を／給食センター建て替えの進捗状況は



多様な幼児教育を保障していくために市は取組を

質問 地域における小学校就学前の子どもを対象とした多様な

集団活動事業の利用支援事業は、自治体の手上げ方式だが小平市

として取り組むことへの見解は。

市長 本年5月に東京都から要綱が示されたが、対象者や対象施設などの状況を把握することが困難であり、現段階では難しいと考

学校給食センター建て替えの進捗状況と災害時等の対応は

質問 ①代替給食の期間中、食



お弁当給食（代替給食）の一例



感染症の偏見や差別をなくすために／キャッシュレス決済



新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別をなくすために

質問 ①病気で学校を休んだ際に新型コロナウイルス感染症と決めつけ、いじめにつながるなど全国的な問題があるが、市内の学校で同様のケースはあるか。

②陽性者が確認された場合、感染対策を行う上では、保護者への一定の情報伝達が有効では。

教育長 ①市立学校でいじめにつながったとの報告はない。今後も偏見等生じないよう各校で人権意識の涵養に努めていく。

②感染拡大リスクが懸念される場合は人権に配慮した上で必要な情報提供が必要と考えてい

新型コロナウイルス感染者専用病棟／小川住宅建て替え等



新型コロナウイルス感染者専用病棟／小川住宅建て替え等



公立昭和病院の感染者専用病棟の拡充と感染者対応について

質問 ①公立昭和病院の感染コ

ホート病棟の拡充が必要だが、市から提案し実行できないか。

②今後の、市内の自宅療養者や調整中の人への支援と対応は。

市長 ①同病院は災害拠点病院など数多くの指定等を受けており様々な役割を担っている。これらの役割などそのときに応じた最適な体制整備を昭和病院企業団の構成市として求めていく。

②食料品等を引き続き配付し、申込みの際は原則、市の保健師が対応し相談も受け付けていく。どのような支援対応が可能か多



鈴木遺跡を生かしたまちづくり／子ども等へのワクチン接種



鈴木遺跡の魅力を最大限に生かしたまちづくりを

質問 ①鈴木遺跡資料館の来場者数に変化はあったか。

②保存活用計画策定に当たって、市民の声を生かしていく機会が必要では。

市長 ①国指定史跡化が市内外からの関心を集め増加した。

②有識者と公募市民で構成する検討委員会を設置したほか、地域懇談会を開催予定である。

子どもや若者たちへのワクチン接種について

質問 ①HPVワクチンについて、平成29年12月定例会の請願



人権の壁を守り、根拠なきことはやめ堅実で大胆な事業運営を



キャッシュレスポイント事業に不確実性を持たせるな

質問 教育費約8千万円の余り分をキャッシュレスポイント事業穴埋めに流用せざるを得なかった状況をどう認識しているか。

市長 コロナ禍という未曾有の状況の中、初めて実施した事業でもあり、当初想定した予算額を大幅に超えることになったが、実績や他自治体の状況等踏まえ、委託事業者と連携し、予算超過しない事業積算に努めていく。

データに基づき、コロナ禍の子どもたちを日常生活に

質問 世界各国で、マスクもせ

切に案内できるよう努めていく。



小平市でも外遊び推進を／新型コロナウイルス感染症への対応
水口かずえ議員
（まちづくり市民こだいら）



小平市でも外遊びの推進を

新型コロナウイルス感染症に市として最大限にできることを

質問 ①子ども・若者計画に外遊びの推進を盛り込めないか。

②プレーパークの推進に対する市長の考えは。

市長 ①本計画では子ども・若者が気軽に安心して遊んだり過ごせる居場所づくりを推進しており新たな施策は考えていない。

②きつねつばら公園を整備し、市民等がプレーリーダーを配置するなど、自由にプレーパークを実施できるようにしている。

市のプレーリーダー配置は、費用等の課題と市の関与など基本的な考え方の整理が必要である。



ワクチン接種の推進／小平第十一小学校等の複合化の方向性は
比留間洋一議員
（政和会）

新型コロナウイルスワクチン接種のさらなる推進を



新型コロナウイルスワクチン接種のさらなる推進を

質問 ①妊娠中の人とそのパートナーへの集団接種会場での優先接種予約受付の定員は何人か。

②今後のワクチン接種希望者にはどのような対応をするのか。

市長 ①8月時点の妊婦の数は約620人で、パートナー等と合わせると約1千2百40人であるが、優先接種予約の枠数はそれ以上を確保している。

②国からのワクチン供給量が縮小しているが、希望する全市民が2回接種できるよう要望している。今後もスムーズな接種ができるよう取り組んでいく。



文化と経済の灯を絶やさないために／体育館へのエアコン設置
山田大輔議員
（政和会）



文化と経済の灯を絶やさないために／体育館へのエアコン設置
コミュニティの再構築を

質問 ①コミュニティと経済の関係性について、市の見解は。

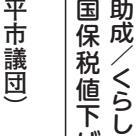
②小平市青少年音楽祭の開催中止に際してのガイドラインは。

市長 ①コミュニティの活性化は、地域の交流とにぎわいを生み出し、地域経済の活性化にもつながるものと捉えている。

教育長 ②ガイドラインはない。企画・運営を行う青少年委員と共に開催に向け準備を行っているが、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を考慮し、来場者等の安全・安心を最優先に考え、中止を決定した。



住宅リフォーム助成／くらし守る対策求める／国保税値下げを
細谷 正議員
（日本共産党小平市議団）



再び、コロナ禍での住宅リフォーム助成制度の検討を問う

質問 ①市の自治体の住宅リフォーム助成制度について市はどのように検討しているか、見解は。

市長 政策目的を限定しない住宅リフォーム補助は、個人の資産形成に対する支援となるため公平性の面で課題があり引き続き他市の動向等を研究していく。

新型コロナウイルス感染症爆発から市民のくらしを守る対策を

質問 ①持続化給付金、中小企業等家賃支援給付金第2弾の支給を国に求めるべきでは。

②コロナ禍の影響を受けている市内の学生に食料品や生理用品を無償配布する支援について継続的に取り組むべきでは。



鷹の台駅前ロータリー／自宅療養者／二酸化炭素目標を50％に
橋本久雄議員
（二人会派の会）



鷹の台駅前のロータリーは中止し既存の道路の拡幅で対応せよ

質問 ①鷹の台駅北側の道路の幅を広げ、直線にすれば駐車可能となるが、検討はしたか。

②ロータリーを造っても一方通行は解除されず、渋滞などで事故の危険が増すのではないか。

市長 ①ロータリー方式より道路延長が短く停車可能台数が少なくなるため検討案から除いた。

②駅前等の混雑は改善され事故の増加等の可能性は低くなる。



新型コロナウイルス感染者への対応とワクチン接種の情報提供
質問 ①市独自で自宅療養者相

談支援窓口を設置できないか。国立市等では設置している。

②市が有償ボランティアを募集し、自宅療養者への買い物代行ができないか。

市長 ①市役所の人材や権限等の観点から設置は困難である。

②実施は考えていない。



鷹の台駅北側のロータリー整備予定地前の道路



小平まんがぱーくをつくらう／玉川上水沿いのトイレの整備
福室英俊議員
（政和会）



（仮称）小平まんがぱーくをつくらう

質問 ①立川まんがぱーくの来場者数の実績と費用効果は。

②小平市にも（仮称）小平まんがぱーくをつくらうはどうか。

教育長 ①ホームページによると元年度は利用者10万3百58人、事業収支は公表されていない。

②特定の資料に特化した施設を設置する考えはない。



玉川上水沿いのトイレの整備について
質問 ①府中街道から西武多摩湖線間の玉川上水沿いの公園にトイレを整備できないか。

市長 国や東京都の施策を注視し、環境審議会等での意見を参考に研究していく。

③新たな整備の予定はない。今後、大規模公園リニューアルの際、総合的観点から研究する。

【掲載分以外の質問項目】
○コロナ禍での衆議院議員選挙と感染対策について

※1 キャッチアップ接種とは
接種忘れや接種漏れ等により、必要回数回の予防接種がされていない場合に追加で接種を行うこと。

※2 Park PFIとは
都市公園において飲食店、売店等の公園施設の設置と当該施設による収益を活用した広場等の整備を一体的に行う事業者を、公募で選定する公募設置管理制度のこと。

※3 涵養とは
自然に水がしみ込むように、ゆつくりと教養を育めること。

※4 コホート病棟とは
感染症の患者を集団で隔離するための病棟のこと。

※5 一団地の住宅施設とは
都市計画法に規定する都市施設で、良好な住宅及び居住者の生活の利便を増進するため、必要な施設を一団の土地に集团的に建設すること。

※6 プレーパークとは
地形や樹木等を利用した自由な遊びを行うことで、子どもの自主性等を育むことができる遊び場のこと。

※7 プレーリーダーとは
プレーパーク等で、子どもと一緒に遊んで自由な遊びを広げたり、事故が起きないように見守る人のこと。

※8 提供公園とは
一定規模の開発事業により整備された公園のうち、条例に基づき市に帰属する公園のこと。

請願・陳情



9月定例会では、請願3件を新たに受理し、1件を採択、2件を継続審査としました。陳情は15件を受理し、全議員及び執行機関に陳情文書表を配付しました。採択した請願の要旨は次のとおりです。

自閉症・情緒障害特別支援学級を設置することについて

国が平成14年と24年に全国の公立小・中学校に行った調査によると、知的発達に遅れはないものの学習面や行動面で著しい困難を示すと担任教師が回答した児童生徒の割合はそれぞれ6・3％と6・5％でした。一方、平成21年度の自閉症・情緒障害学級（以下「情緒固定級」という。）の在籍及び情緒障害等通級指導の利用実態では、都内で、いずれかの学級に在籍または利用する児童・生徒は、0・6％でした。東京都教育委員会は、平成22年に策定した東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画で、次のように述べています。

「（特別支援教室と）あわせて、自閉症・情緒障害特別支援学級（固定学級）の計画的な配置を進めることで通常の学級、特別支援教室、通級指導学級及び固定学級の役割分担を明確にした『重層的な支援体制』を確立し、発達障害の程度等に応じた教育内容・方法の充実と適切な就学のより一層の推進を図ります。」

この実施計画を踏まえ、現在、多摩26市ではその7割以上に当たる19市が情緒固定級を設置しています。令和3年度時点、小・中学校合わせた数字で、青梅市では31学級、多摩市では25学級あります。既に設置済みの幾つかの市ではニーズに応じて学級

意見書

9月定例会では1件の意見書を可決し、関係機関へ送付しました。（要旨）

意見書とは、地方公共団体の公共の利益に関することについて議会としての意思を意見としてまとめ、国会または関係行政庁に文書で提出するものです。（地方自治法第99条）

放課後等デイサービス事業所への早急な支援策を求める意見書

令和3年4月から、障害福祉サービスの報酬改定が実施されました。放課後等デイサービスでは、多くの事業所が大幅に減収となり支援の質を保つことが難しくなります。そのため、障害児放課後グループ連絡会・東京が東京都議会に、放課後等デイサービスへの緊急的な支援に

関する陳情を行ったところ、本年第2回定例会において、全会一致で意見付採択されました。この陳情の願意は、①放課後等デイサービスの専門的支援加算は、児童発達支援事業と同様に、5年以上経験のある保育士・児童指導員も対象に含めるように、国に働きかけてください。②放課後等デイサービスの専門的支援加算の対象に、5年以上経験のある保育士・児童指導員を含めるまでの間、それに代わる何らかの手だてを、東京都として緊急に取ってください、というものです。この願意を早急に具体化するなどの支援策が求められています。

よって本市議会は、東京都に

対し、次の事項を求めます。
1 障害児放課後グループ連絡会・東京が東京都議会に陳情をして、意見付採択された願意に基づき、東京都として支援策を早急に具体化してください。
東京都知事宛て

現在、小平市内には情緒固定級の設置を待ち望んでいる発達障害の子どもやその家族は多く、ニーズは十分にあります。今、この瞬間にも、居場所がなく不登校で苦しんでいる子どもが何人もいます。どうか、この状況を見過ごさないでください。

請願者 小平市学園東町1丁目 波済 千恵 外358人

閉会中継続審査の請願一覧

議会運営委員会

請願第9号 市民からの陳情を議会で審議することを求めることについて

請願第10号 請願者の住所、氏名のホームページや議会報上での取扱いの変更と、採択された陳情、請願の処理状況の公表を求めることについて

市民と議会の意見交換会をオンライン（Zoom）で開催します

今回は、9月定例会の報告と市政全般についての意見交換を行ったのち、常任委員会班ごとにわかれ、それぞれのテーマについて意見交換を行います。

詳しい内容は以下のとおりです。ご参加をお待ちしています。

市の情報はあなたに届いていますか？
～市報・ホームページ・SNS～

担当：総務委員会班

コミュニティの力でコロナ禍を乗り越えよう
～市民の自治会参加を向上させる取組について～

担当：生活文教委員会班

いのちを守る
～健康・介護・子どもなど～

担当：厚生委員会班

いつまでも住みやすい小平を目指して
～公共交通・脱炭素・マナー啓発～

担当：環境建設委員会班

日程 11月21日（日） 午後2時から午後4時まで
会場 オンライン（Zoom）開催（会場での開催はありません。）
費用 無料（通信料は自己負担となります。）

定員 35人（先着順）
申込み 11月19日（金）正午まで
市議会ホームページ（<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/092/092969.html>）からお申込みください。
※申込みをいただく前に同サイト記載の注意事項をご確認ください。QRコードは右記のとおり。
問合せ 議会事務局 ☎042（346）9566



議員の寄附行為は禁止されています

政治家が、選挙区内の人や団体にあいさつ状（答礼のための自筆によるものは除く）を出したり、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

あとがき

9月定例会では様々な議案等について活発な議論が交わされました。今後も分かりやすい紙面づくりに努めてまいります。お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。

〒187-1870 小平市小川町二丁目

1333番地

☎042（346）9566

FAX 042（346）9567